

HP完成!

ついに公式ホームページを開設しました!まだ未完成ですが、「松山櫨便り」のバックナンバーがPDFファイルでダウンロードできます。お読みになりたい方はぜひお立ち寄りください。

※本会報を許可なく複製・転載すること、または部分的にもコピーすることを禁じます。

松山櫨便り

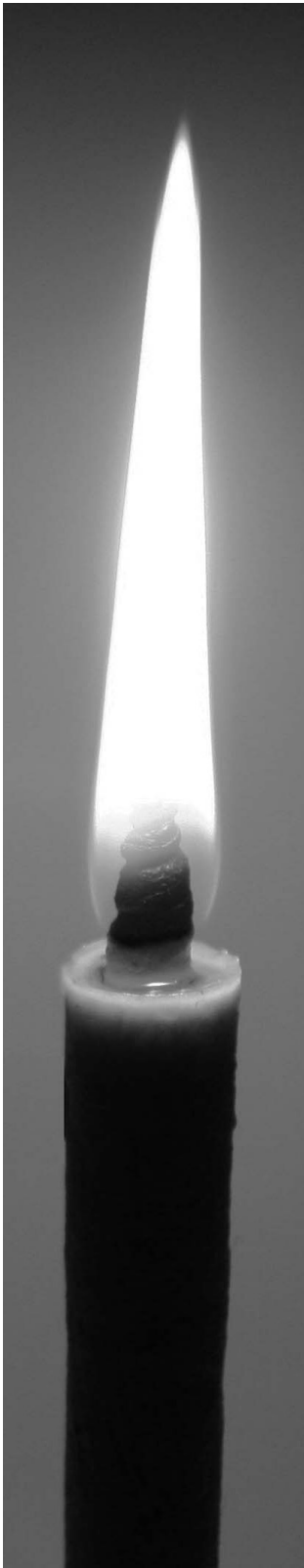
第27号

購読無料

1日・15日発行・櫨に関する情報求ム!
福岡県久留米市田主丸町で活動中!
編集・発行 松山櫨復活委員会
幹事・矢野真由美

耳納山の片隅で失われてしまった櫨紅葉の景観を復活させることを目的に、櫨の素人がまったりとその様子を伝えていく会報です。

ブログ公開中「松山櫨復活奮闘日記」<http://blog.goo.ne.jp/elster/> 連絡先 e-mail : elster@mail.goo.ne.jp
ホームページ「松山櫨復活委員会」<http://www.webn-design.com/~mhaze/>



松山櫨の状況は...

江戸時代に田主丸町森部で発見された櫨の優秀な品種「松山櫨」。朝倉市に一ヶ所だけ残っていた松山櫨を、故郷である田主丸に復活させるため、接ぎ木を行い一本だけ活着に成功しました。今のところ、なんとか育てています。

前号までのあらすじ
日本人が明るさと美しさにこだわってきた和ろうそくの炎。その秘密は「芯」にあります。しかし近

年海外生産され、芯の品質が危ぶまれています。そこで朝倉市在住の芯巻き職人による品質の高い芯で作った和ろうそく製作をすることに...

和ろうそく芯物語 その7

ついに完成した 国産芯の和ろうそく

念願の和ろうそく

蠟燭100%。芯巻き歴60年徳田さんの芯。大興の手がけ職人による本物の和ろうそく。ついにできました。

火を灯すと、ゆらゆらと一瞬ごとに姿を変えながら、時折すつきりと真っ直ぐ上に炎を形作りまします。この生き物のような美しい炎の形をじつと見ていると、手作り

しか出せない独特の温かみが、いかに人間の心を落ち着かせるのを実感させられます。これを見たら、もう糸芯の石油ロウソクじゃ物足りなくなつたな、と思いました。しかし嬉しくはあるものの、私はどこか切ない気持ちになつてしまいました。

日本人の持つ最高の和ろうそくは徐々に衰退し、失われつつあるのです。この美しい明かりが人々に受け入れられないとは。

徳田さんに渡すと

さつそく芯巻き職人徳田さんのもとにも、出来上がった和ろうそくを届けに行くと、徳田さんは自身が巻いた芯の和ろうそくを、しばらくじつと見つめていました。「父が亡くなった時も、母が亡くなった時も、本人が作った芯の和ろうそくを灯すことができなかつた。私は自分が巻いた芯の和ろうそくを、この目で見る事ができるとは思わなかったな。」

近所にはろうそく職人もいませんし、60年間、何万個も芯を巻いて世に送り出してきた徳田さんですが、まさか自分が巻いた芯の和ろうそくを手に入れられるとは、思ってもいませんでした。芯は一旦、他の芯と混ぜられた後に、ろうそく職人へ卸されるからです。数年前、徳田さんは和ろうそくで有名な愛媛県内子町に観光で立

ち寄つたことがあります。現地のろうそく職人の実演を、他の観光客同様に眺めながら、

「あの芯は、誰の巻いた芯を使ってるんだらう。」と思いつつ、なかなか恥ずかしくて声をかけずらくて、ましてや自分が芯巻きしてると言えるわけもなく、ただただ、ろうそく職人の実演を見つめていたそうです。

自分が巻いた芯を持ってきていれば、それをろうそく職人に渡すことができただけに。そう思つても時遅し。帰りのバスの集合時刻が来てしまい、後ろ髪を引かれながら立ち去つたのです。

私は単に自分が本物の和ろうそくを見たくて個人的にお願いしたことですが、徳田さんにとってみれば、自分の巻いた芯の和ろうそくを手に入れた瞬間は、60年もの間、密かに抱いていた叶わぬ夢が実現した瞬間だったのです。

続きは次号にて